

地理教育研究会・2005年7月・東京例会

## いまチェチェン問題をどう考えるか ～大富亮さんに聞く～

なぜロシアはチェチェン戦争を進めているのか、ロシアの国民はチェチェン戦争をどのようにみているのか、チェチェン国内はいまどうなっているのか、独立派の指導者マスハドフはなぜ殺害されたのか、チェチェン戦争はどうしたら終わらせることができるか、わたくしたちにとってチェチェン問題はどのような意味を持っているだろうか。

本日は、いま日本でチェチェン問題を語らせたらの第一人者、大富亮さんをお招きして、チェチェン問題の現在についてさまざまな角度から考えます。大富さんは国内のチェチェン支援団体の要として活動され、講演会、学習会などを開催し、また国際的ネットワークから最新の情報を手広く収集し、するどく分析整理してメールマガジン、“チェチェンニュース”で配信しています。

テーマ:いまチェチェン問題をどう考えるか

講師:大富 亮(チェチェンニュース発行人)

日時:2005年7月9日(土)14:30から17:00ころ

会場:法政大学(市ヶ谷キャンパス)ボアソナードタワー 13階(地理学第1実習室)

参加費:500円

懇親会:例会終了後に、講師を囲む懇親会があります。会場は「酒当番」(外堀通り)

### 大富亮さんのプロフィール:

1976年、神奈川県生まれ。大学卒業後、人道支援のNGO「市民平和基金」事務局に勤務、1999年に第2次チェチェン戦争が始まり、平和キャンペーンに参加、広報などを担当する。そこで見聞したチェチェンの状況や歴史が琴線にふれ、2001年からニュースレター「チェチェンニュース」を発行している(現在の配信数1,709部)。チェチェン総合情報 <http://chechennews.org/> はチェチェン問題でもっとも信頼性の高いサイトとして知られている。

著書(林克明との共著):『チェチェンで何が起きているのか』2004年、高文研、254頁、1,800円 はチェチェン問題の最良の必読書。

地理教育研究会：〒102-0075 東京都千代田区三番町24-5 地理教育研究所内

TEL&FAX.:03-3237-7279 E-mail: chikyouken@sepia.plala.or.jp

当日の連絡先： 山本研究室(03-3264-9802) 携帯(090-8509-1109)